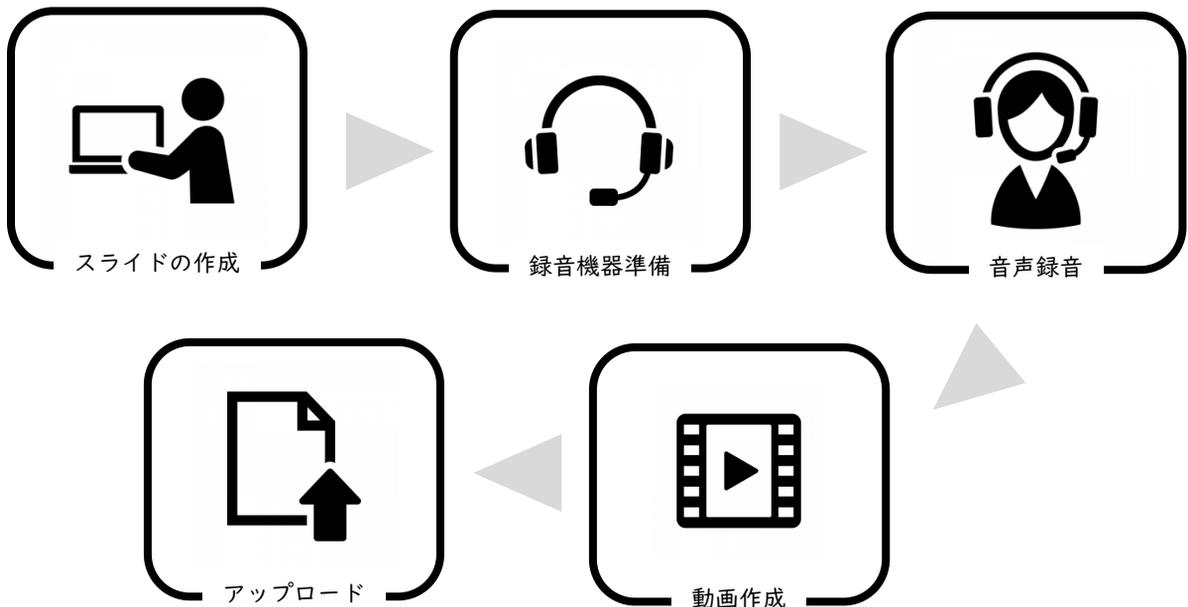


# PowerPoint 動画書き出し手順書

---

## 録音を始めるご準備

スライドご登録までの手順のご案内



- ・ スライド作成は以下の通り作成ください。  
1枚目・・・演題名、名前、所属などのタイトルスライド  
2枚目・・・利益相反（COI）スライド  
3枚目以降・・・講演スライド
- ・ ご発表で作成されたPowerPointもしくは、keynoteファイルをご用意ください。※スライドサイズは16：9推奨します。（4：3可）そのファイルからバックアップファイルを作成してください。
- ・ バックアップファイルをご使用してナレーション録音を行ってください。
- ・ ナレーションを録音するにあたり、手元にヘッドセットマイク、もしくはイヤホンマイクがあればをご用意してください。お持ちでない場合については、パソコンについている内蔵マイクをご使用ください。その際ですが、なるべく静かな場所で雑音が入らないよう録音してください。
- ・ 動画作成手順については、次頁から内容に沿ってご作成ください。

# PowerPoint2010で録音する方法（1/4）

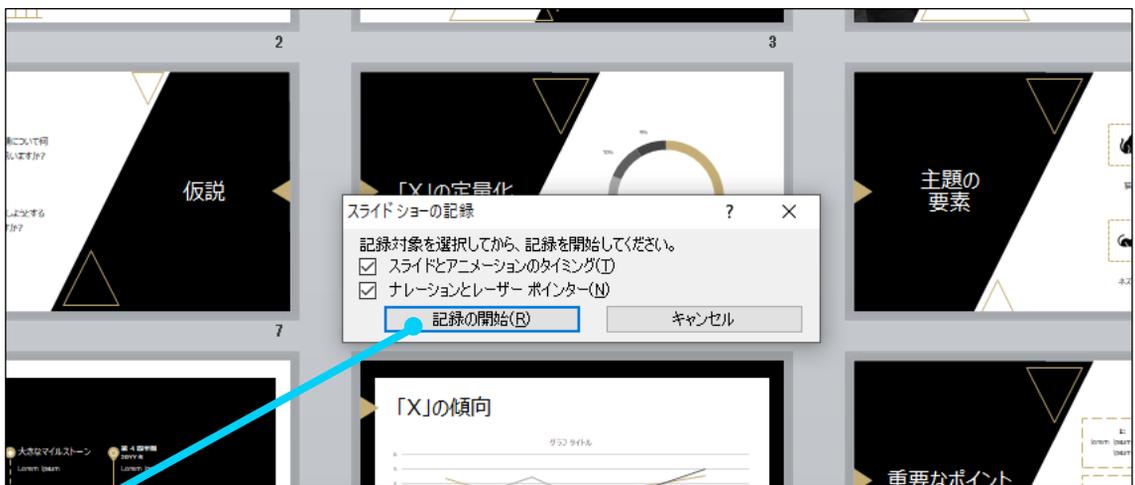
ナレーション録音する場合は、あらかじめパソコンとマイク（ヘッドセット等）を接続した状態にしてください。マイクがない場合は、そのままPCの付属マイクを利用ください

1 [スライドショー]  
タブをクリック

2 [スライドショーの記録] を  
クリック



3 [先頭から録音を開始] を  
クリック

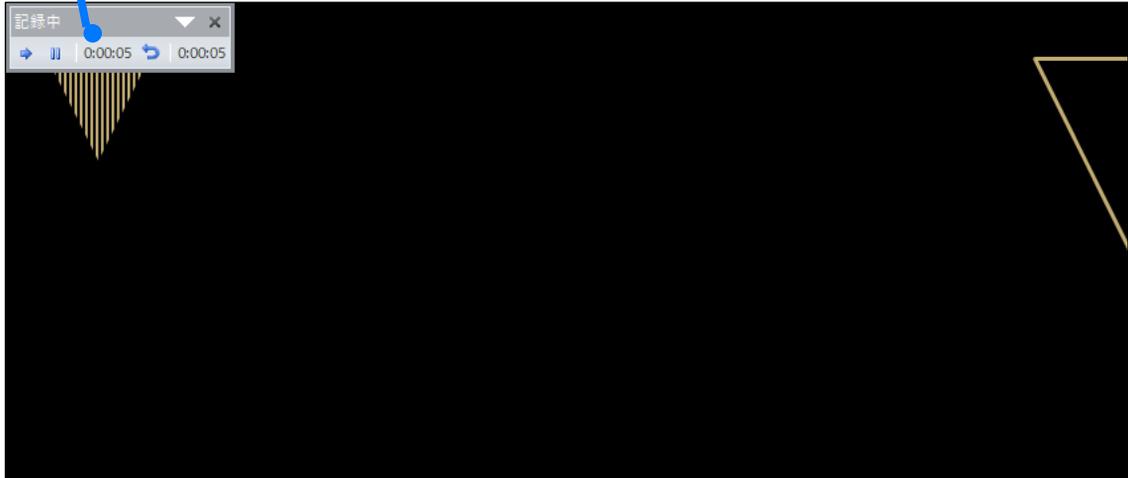


4 [スライドショーとアニメーションのタイミング]  
[ナレーションとレーザーポインター] のチェックが  
入っていることを確認して [記録の開始] をクリック

## PowerPoint2010で録音する方法（2/4）

5

左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める  
1枚ずつナレーションを入れ終えてから、次のスライドを進めて  
ください（音声が途切れる場合がございます）  
一時停止を押すと、録音が一時的に停止できます。  
再開を押すと再度録音が始まります。



6

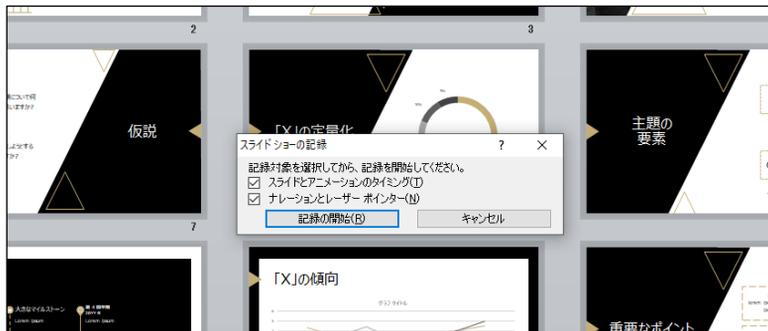
スライドショーを最後まで進めて終了して、  
スライド一覧表示にみていただくと、  
各スライドの左下に時間が表示されていることを確認します

PowerPointを保存（新しく名前を付けて保存）します。  
再度ファイルを開きスライドショーで確認して、  
音声やスライドのタイミング等問題がないか確認します。

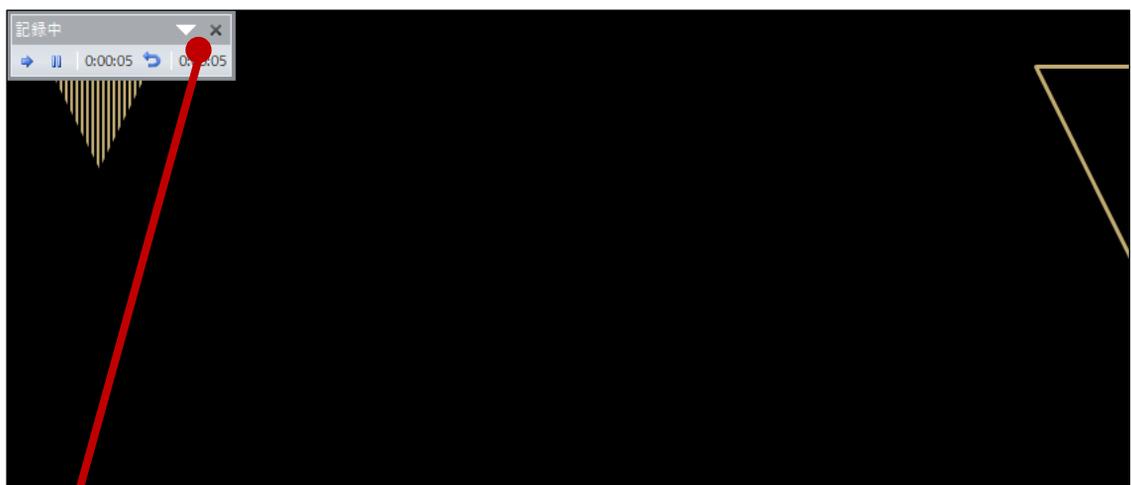
## PowerPoint2010で録音する方法（3/4）

7

スライドの録音を部分的に取り直したい場合は、  
取り直したいスライドを選択した状態で  
[現在のスライドから録音を開始]を選択



4と同様の手順で  
進んでください

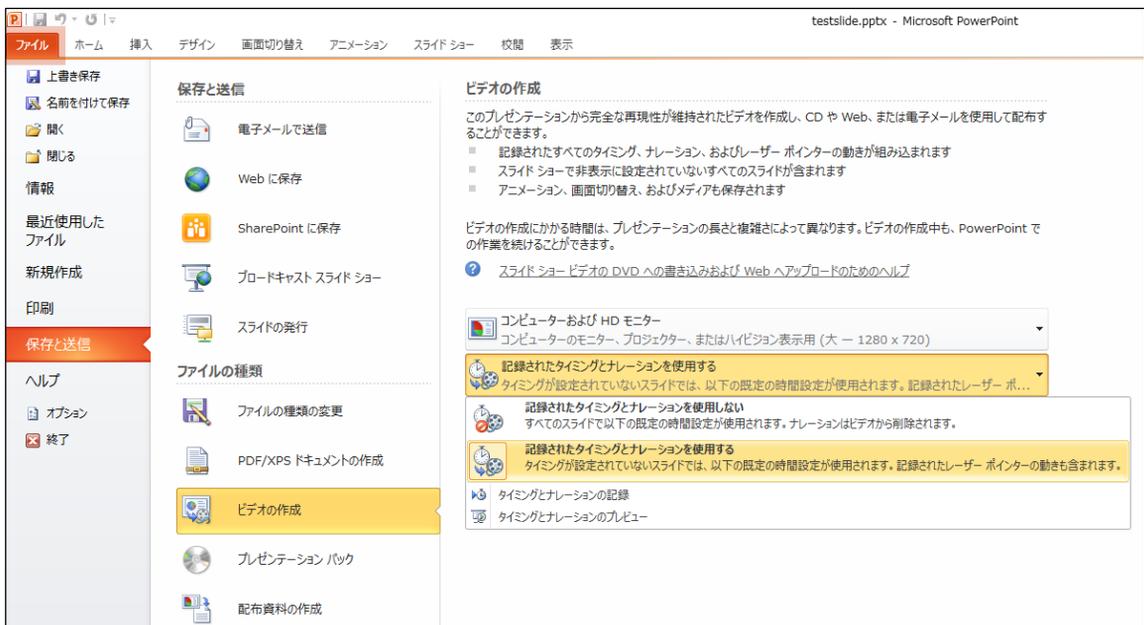
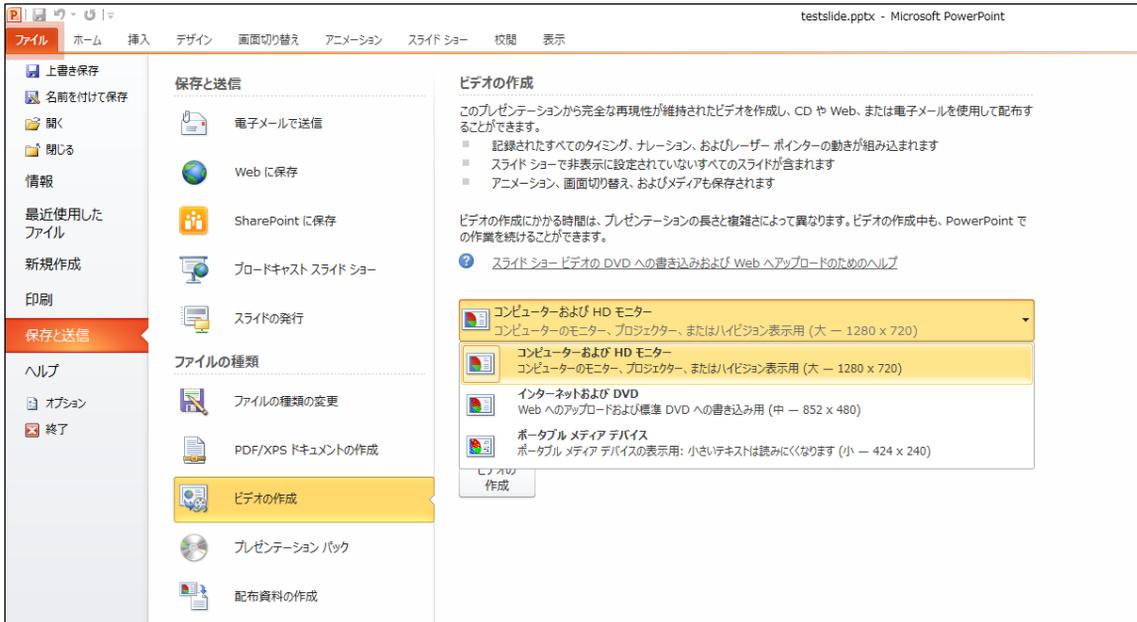


8

やり直したいスライドのナレーション録音が音出来たら  
[×] をクリックして下さい。  
録音開始から終了を押された時点までの音声録音されます。

9

スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う  
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]  
で書き出します



ビデオ解像度は[1920×1080]もしくは[1440×1080]  
[1280×720]もしくは[960×720]を選択  
[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

# PowerPoint2013で録音する方法（1/4）

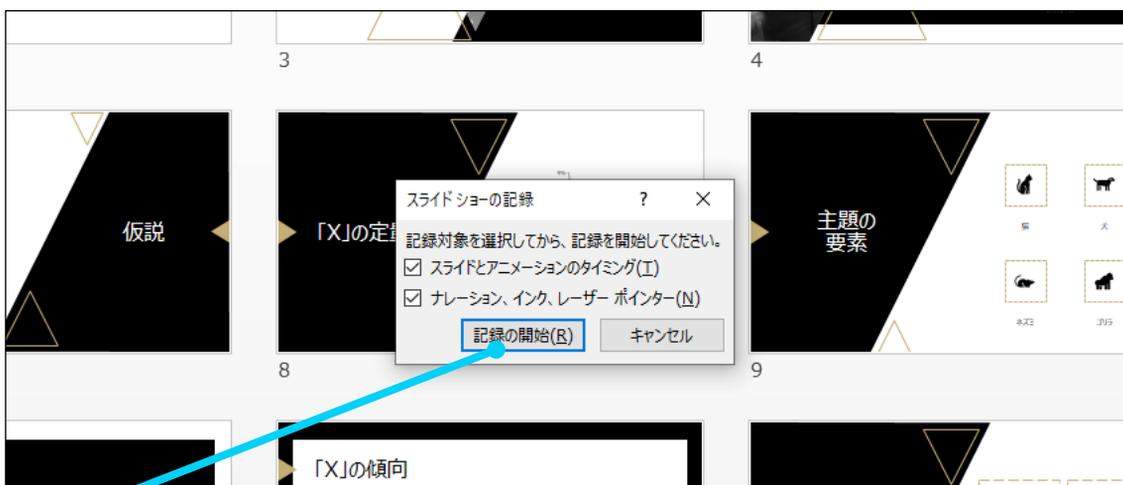
ナレーション録音する場合は、あらかじめパソコンとマイク（ヘッドセット等）を接続した状態にしてください  
マイクがない場合は、そのままPCの付属マイクを利用ください

1 [スライドショー]  
タブをクリック

2 [スライドショーの記録] を  
クリック



3 [先頭から録音を開始] を  
クリック

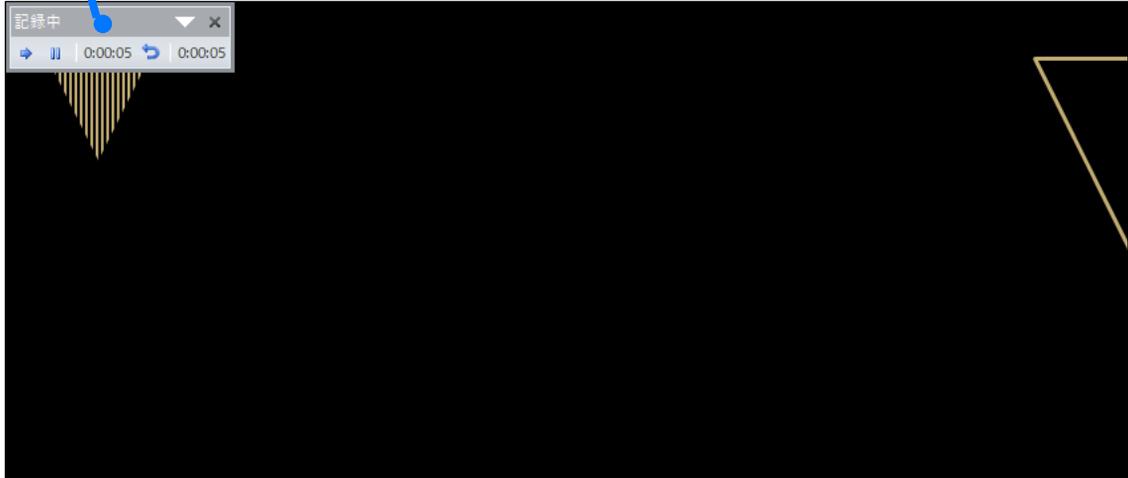


4 [スライドショーとアニメーションのタイミング]  
[ナレーションとレーザーポインター] のチェックが  
入っていることを確認して [記録の開始] をクリック

## PowerPoint2013で録音する方法（2/4）

5

左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める  
1枚ずつナレーションを入れ終えてから、次のスライドを進めて  
ください（音声途切れる場合がございます）  
一時停止を押すと、録音が一時的に停止できます。  
再開を押すと再度録音が始まります。



6

スライドショーを最後まで進めて終了して、  
スライド一覧表示にみていただくと、  
各スライドの左下に時間が表示されていることを確認します

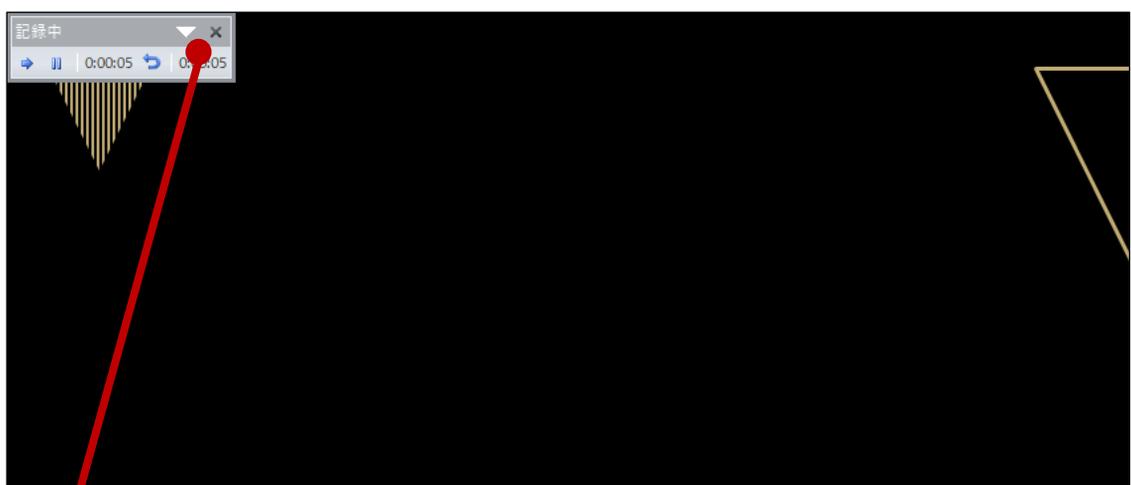
PowerPointを保存（新しく名前を付けて保存）します  
再度ファイルを開きスライドショーで確認して、  
音声やスライドのタイミング等問題がないか確認します

# PowerPoint2013で録音する方法（3/4）

- 7 スライドの録音を部分的に取り直したい場合は、  
取り直したいスライドを選択した状態で  
[現在のスライドから録音を開始]を選択



4と同様の手順で  
進んでください



- 8 やり直したいスライドのナレーション録音が音出来ましたら  
[×] をクリックして下さい。  
録音開始から終了を押された時点までの音声録音されます。

9

スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う  
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]  
で書き出します

testslide.pptx - PowerPoint

情報  
新規  
開く  
上書き保存  
名前を付けて保存  
印刷  
共有  
エクスポート  
閉じる  
アカウント  
オプション

## エクスポート

- PDF/XPS ドキュメントの作成
- ビデオの作成**
- プレゼンテーション パック
- 配布資料の作成
- ファイルの種類の変更

### ビデオの作成

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの送信ができるビデオとして保存します。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、およびレーザー ポインターの動きが組み込まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

スライドショー ビデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ

プレゼンテーション品質	最大ファイル サイズおよび高画質 (1920 x 1080)
プレゼンテーション品質	最大ファイル サイズおよび高画質 (1920 x 1080)
インターネット品質	中ファイル サイズおよび中程度の品質 (1280 x 720)
低品質	最小ファイル サイズおよび低画質 (852 x 480)

作成

testslide.pptx - PowerPoint

## エクスポート

- PDF/XPS ドキュメントの作成
- ビデオの作成**
- プレゼンテーション パック
- 配布資料の作成
- ファイルの種類の変更

### ビデオの作成

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの送信ができるビデオとして保存します。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、およびレーザー ポインターの動きが組み込まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

スライドショー ビデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ

インターネット品質	中ファイル サイズおよび中程度の品質 (1280 x 720)
記録されたタイミングとナレーションを使用する	タイミングが設定されていないスライドでは既定の長さが使用されます (以下をご覧ください)。このオ...
記録されたタイミングとナレーションを使用しない	すべてのスライドで以下の既定の時間設定が使用されます。ナレーションはビデオから削除されます。
記録されたタイミングとナレーションを使用する	タイミングが設定されていないスライドでは既定の長さが使用されます (以下をご覧ください)。このオプションは、インクとレーザー ポインターのジェスチャにも適用されます。

- タイミングとナレーションの記録
- タイミングとナレーションのプレビュー

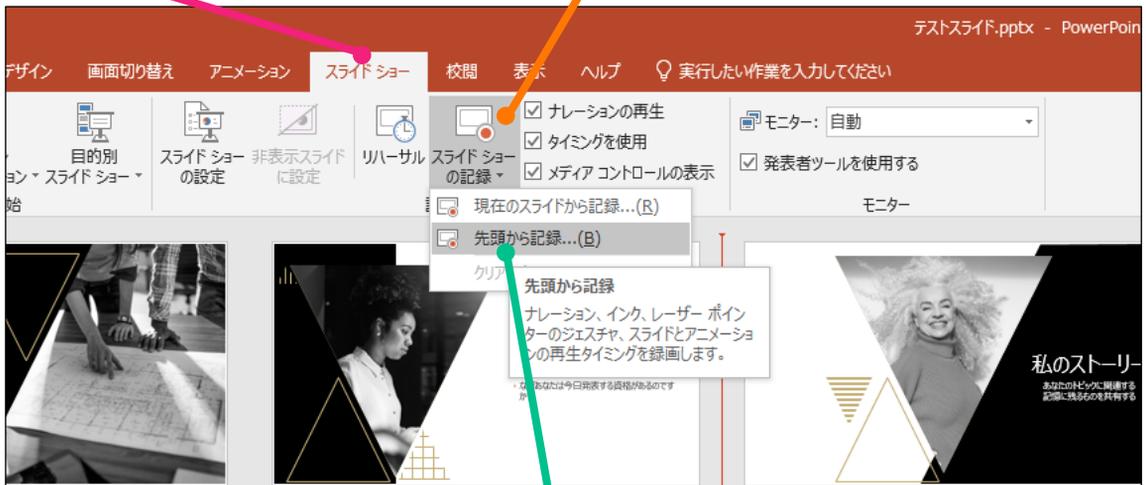
ビデオ解像度は[1920×1080]もしくは[1440×1080]  
[1280×720]もしくは[960×720]を選択  
[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

# PowerPoint2019で録音する方法（1/5）

ナレーション録音する場合は、あらかじめパソコンとマイク（ヘッドセット等）を接続した状態にしてください  
マイクがない場合は、そのままPCの付属マイクを利用ください

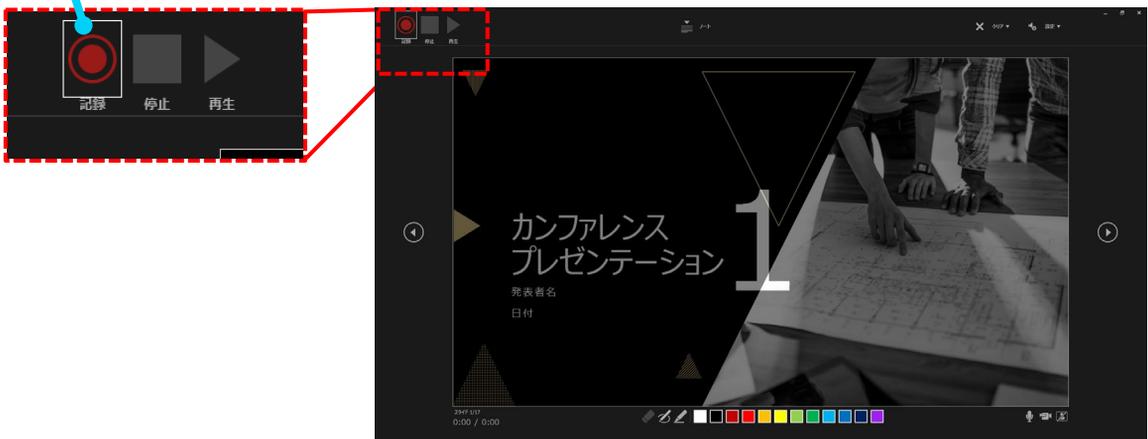
1 [スライドショー]  
タブをクリック

2 [スライドショーの記録] を  
クリック



3 [先頭から記録] を  
クリック

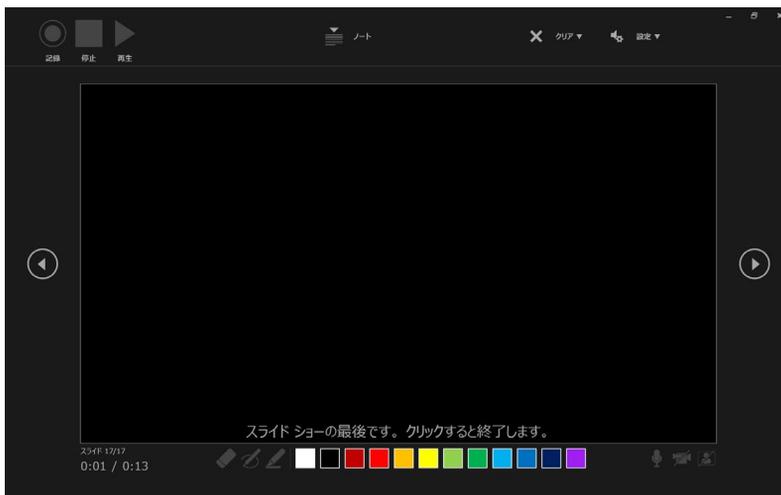
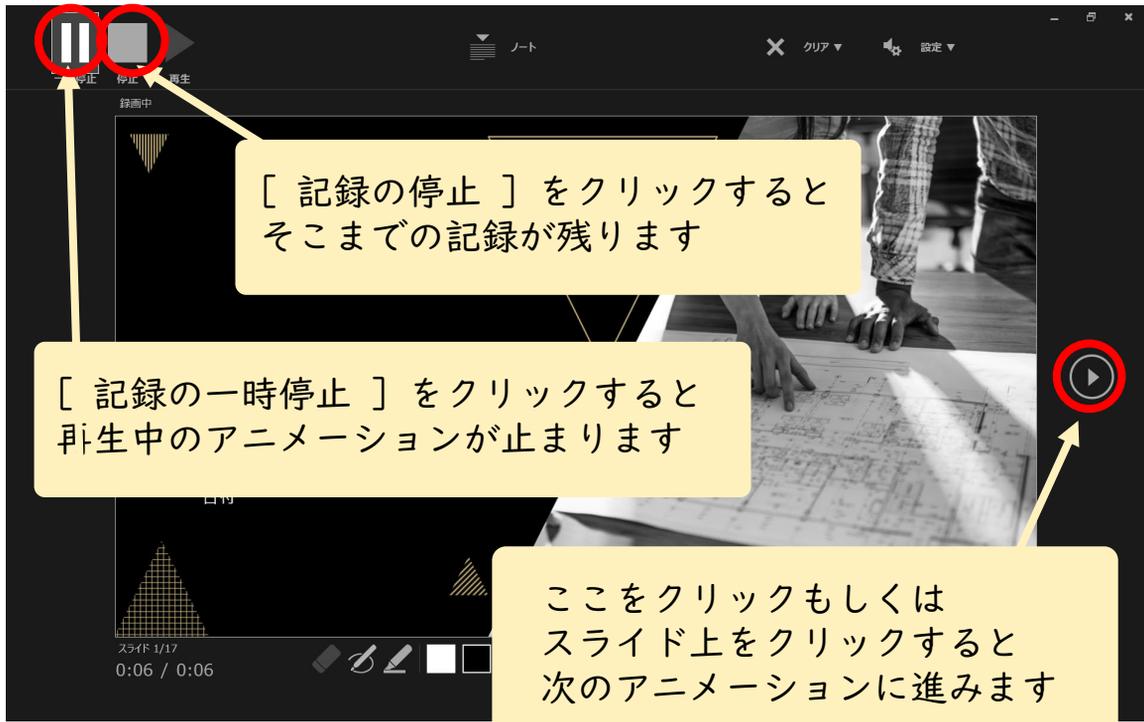
4 [記録] をクリック



## PowerPoint2019で録音する方法（2/5）

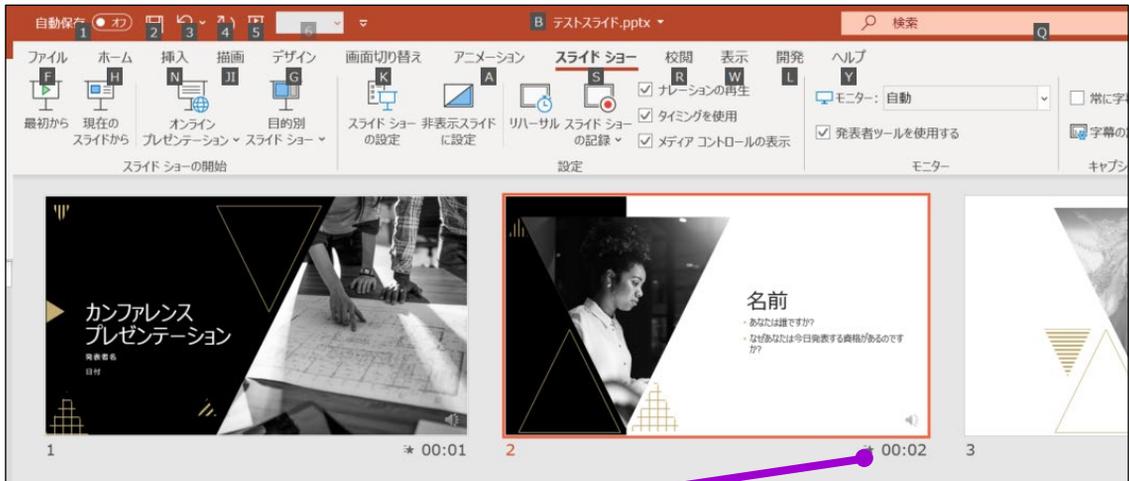
5

左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める  
1枚ずつナレーションを入れ終えてから、次のスライドを進めて  
ください（音声が途切れる場合がございます）  
一時停止を押すと、録音が一時的に停止できます。  
再開を押すと再度録音が始まります。



最後まで進めると自動的に録画が停止になります。  
上画面まで来たら、スライドをもう1枚進めると  
元の画面に戻ります

## PowerPoint2019で録音する方法（3/5）



6

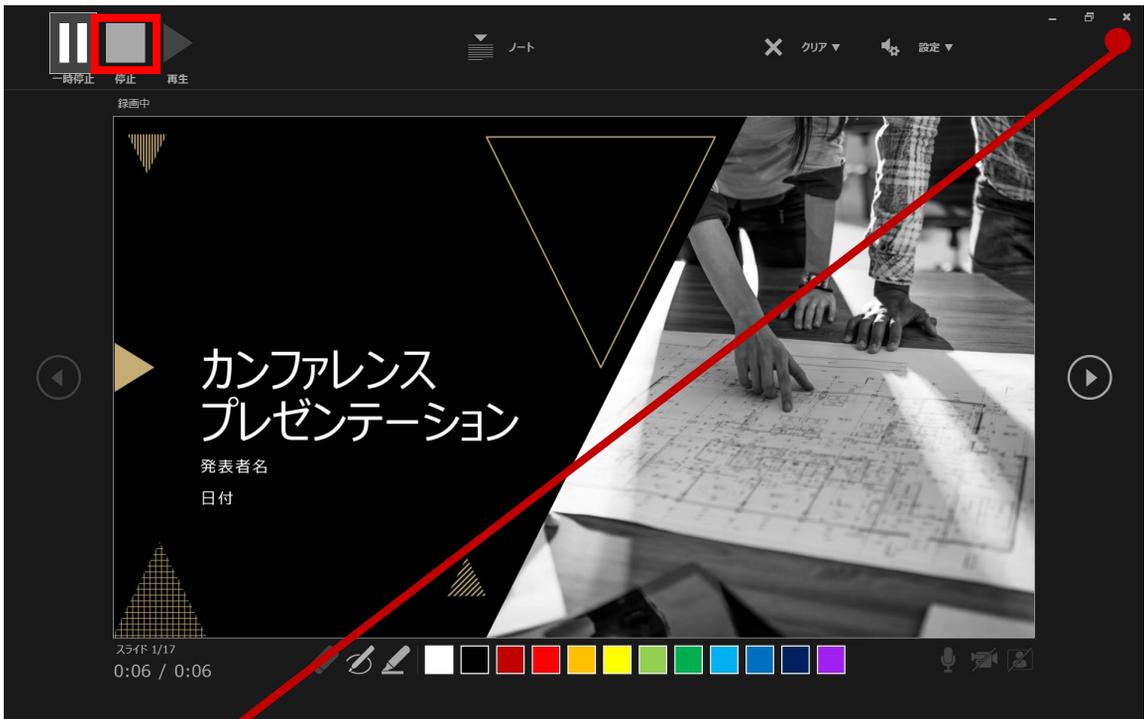
スライドショーを最後まで進めて終了して、スライダー表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が表示されていることを確認します。

PowerPointを保存（新しく名前を付けて保存）します。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認します。

## PowerPoint2019で録音する方法（4/5）

7

スライドの録音を部分的に取り直したい場合は、  
取り直したいスライドを選択した状態で  
[現在のスライドから記録]を選択

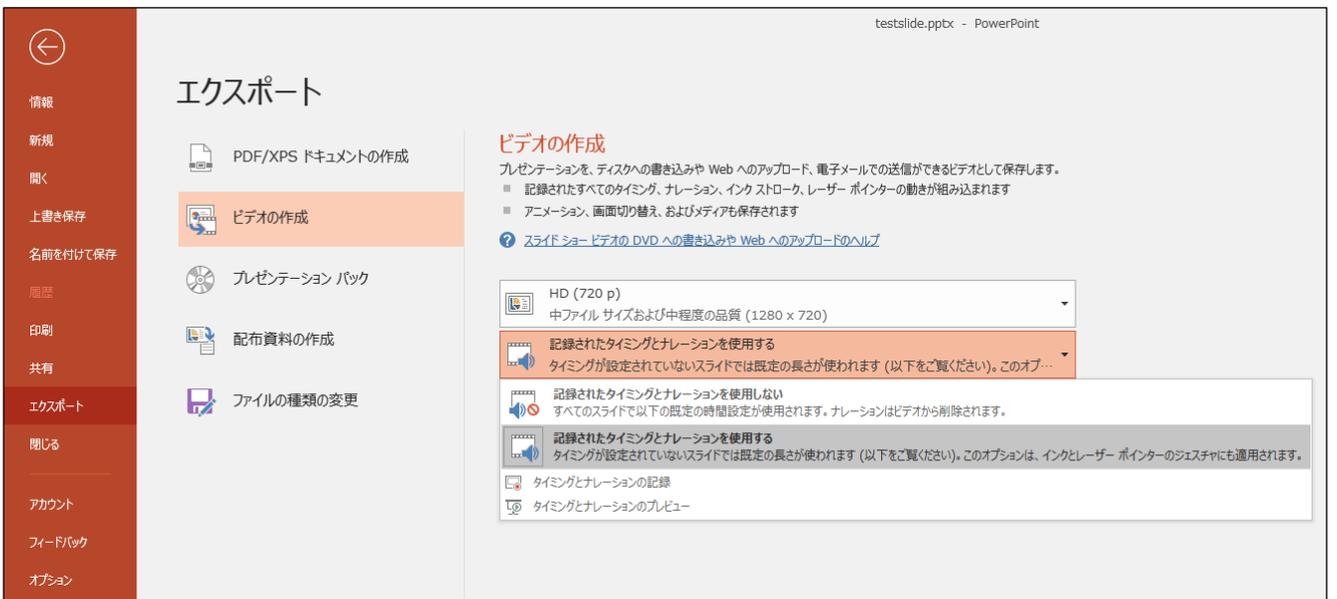
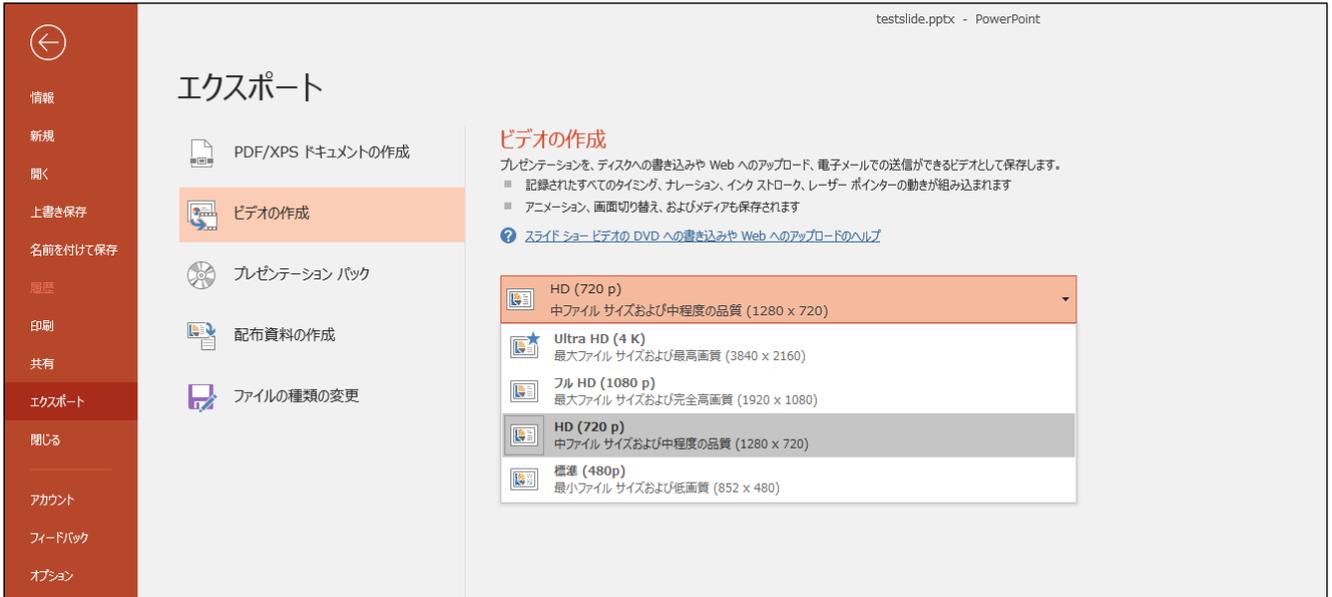


8

やり直したいスライドのナレーション録音が音出来ましたら  
[停止ボタン]をクリックして、[×] をクリックして下さい。  
録音開始から終了を押された時点までの音声録音されます。

9

スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。  
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]  
で書き出します。



ビデオ解像度は[1920×1080]もしくは[1440×1080]  
[1280×720]もしくは[960×720]を選択  
[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

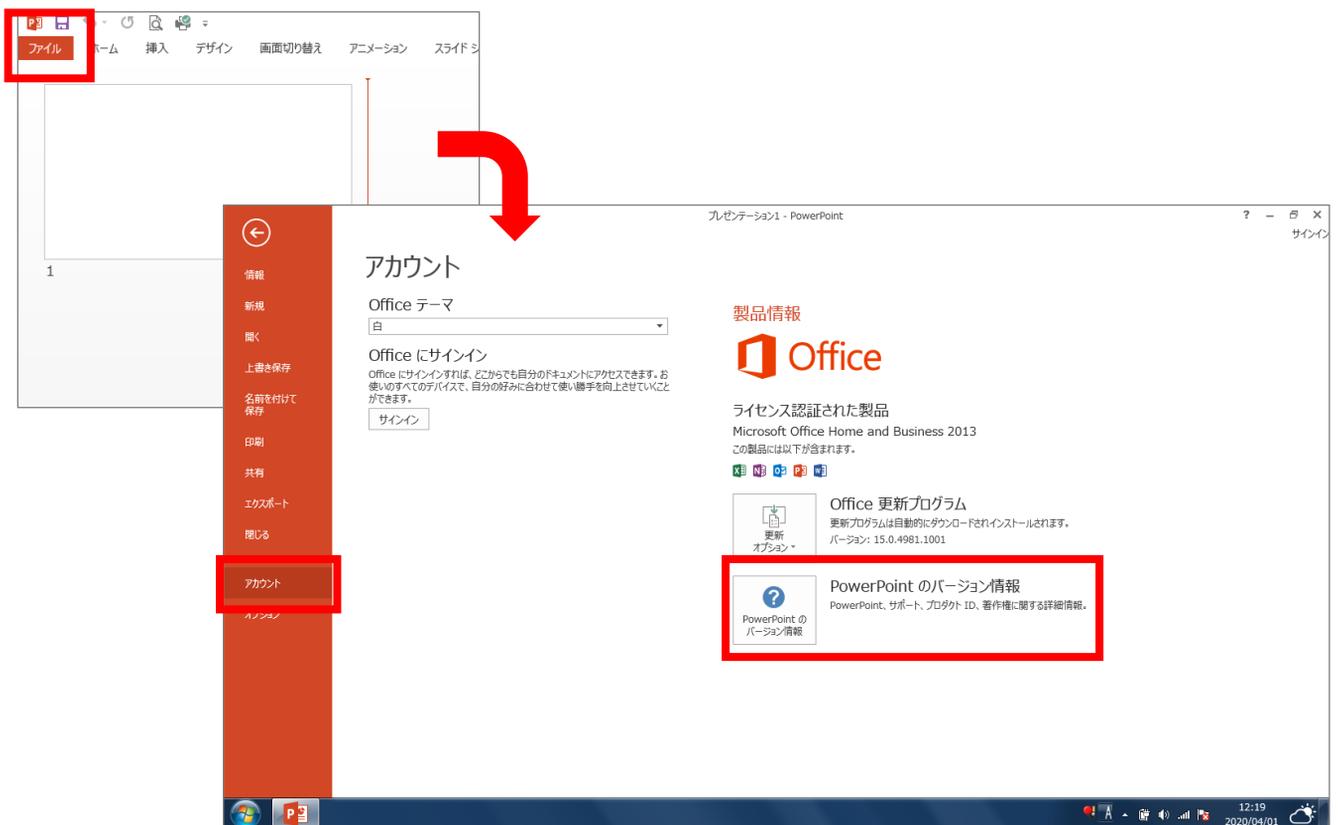
# PowerPointのバージョンを確認する方法

## <全バージョン共通> PowerPointを開く

▣ [ファイル]のタブをクリック

▣ [アカウント]のタブをクリック

▣ [PowerPointのバージョン情報]のタブをクリック



# PowerPoint for macで録音する方法 ( 1/3 )

ナレーション録音する場合は、あらかじめパソコンとマイク（ヘッドセット等）を接続した状態にしてください  
マイクがない場合は、そのままPCの付属マイクを利用ください

1 [スライドショー]  
タブをクリック

2 [スライドショーの記録] を  
クリック



3 マイクに向かってナレーション録音  
スライドも任意のタイミングで進める  
一時停止を押すと、録音が一時停止できます。  
再開を押すと再度録音が始まります。



# PowerPoint for macで録音する方法 ( 2/3 )

4

[保存]をクリック



5

スライドショーを最後まで進めて終了して、スライダー一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が表示されていることを確認します。

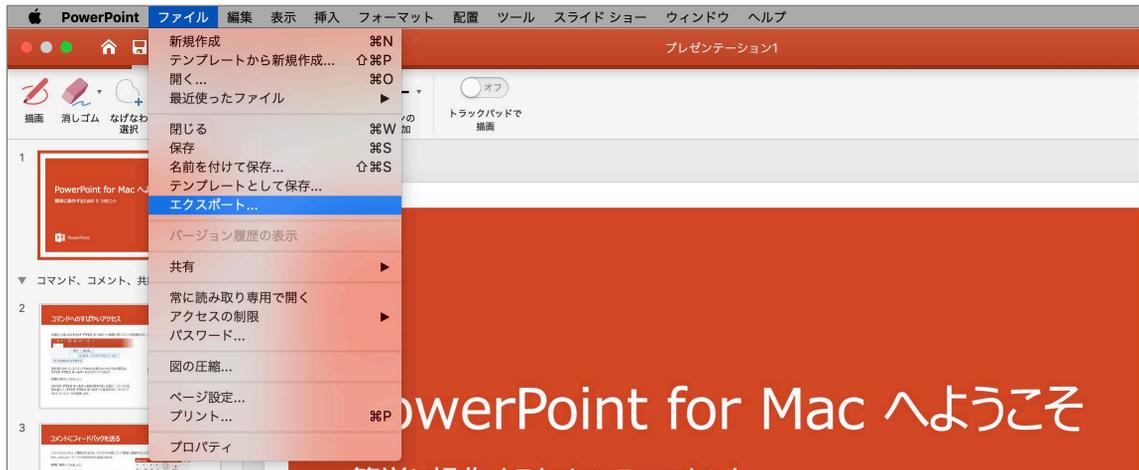


PowerPointを保存（新しく名前を付けて保存）します再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認します

# PowerPoint for macで録音・書き出しする方法（3/3）

6

スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。  
[ファイル]→[エクスポート]で書き出します。  
ファイル形式はMP4を選択してください。



ビデオ解像度は[1920×1080]もしくは[1440×1080]  
[1280×720]もしくは[960×720]を選択  
[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

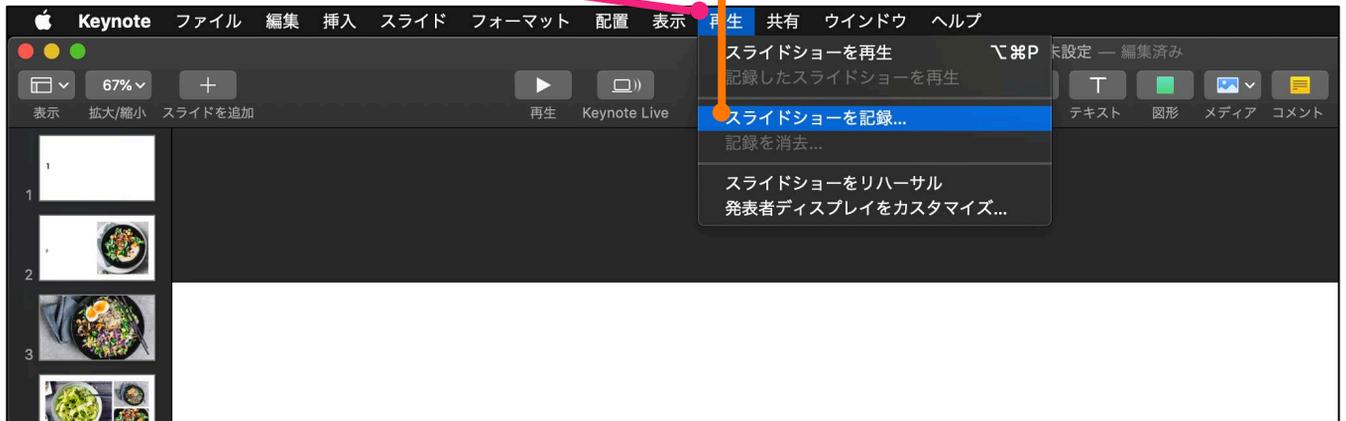
※バージョンによっては書き出し対応していないバージョンもございますので  
その際はPowerPointにナレーション録音をいれた状態でご登録下さい。

# Keynoteで録音する方法（1/3）

ナレーション録音する場合は、あらかじめパソコンとマイク（ヘッドセット等）を接続した状態にしてください  
マイクがない場合は、そのままPCの付属マイクを利用ください

1 [再生]  
タブをクリック

2 [スライドショーを記録]  
をクリック

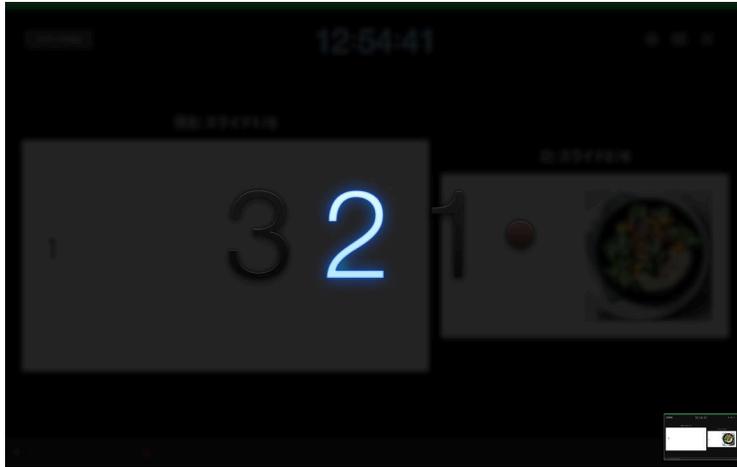


3 録画ボタンを  
をクリック

## Keynoteで録音する方法（2/3）

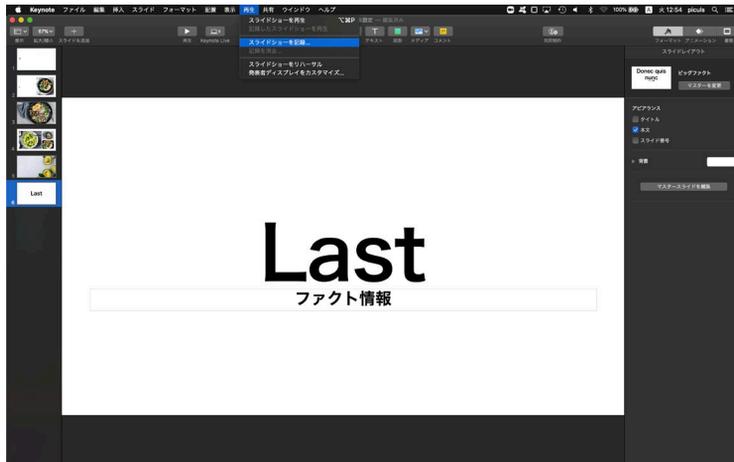
4

ナレーション録音します



カウントが終わったら録画開始となります。  
すべてのスライドを撮り終えたら、停止ボタンを  
押して、「Esc」キーを押して下さい。

5



keynoteを保存（新しく名前を付けて保存）します。  
再度ファイルを開きスライドショーで確認して、  
音声やスライドのタイミング等問題がないか確認します。

## Keynoteで録音する方法（3/3）

6

スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。  
[ファイル] → [書き出し] → [ムービー]で書き出します。



ビデオ解像度は[1920×1080]もしくは[1440×1080]  
[1280×720]もしくは[960×720]を選択  
[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択